

令和4年度 いこま SDGs アクションネットワーク アドバイザー会議（第1回）

開催日時：令和4年7月11日(月) 15:00～16:30

開催場所：生駒市コミュニティセンター 206 会議室

出席者

(参加者) 浦林直子氏、清水綾氏、溝口雅代氏、濱田信吾氏

(事務局) SDGs 推進課長金子、SDGs 連携推進係長吉村、SDGs 連携推進係員藤村

案件

議題1 SDGs 推進事業補助金について

事務局から令和3年度の補助事業について報告。令和4年度の補助要綱について説明。

事務局から申請事業の説明（3部構成 SDGs イベント）

浦林氏 無限の関わり方は。

事務局 第1回開催時のチラシにもあるが、チロル堂ブースの出展という部分での関わりになる。

浦林氏 無限の取組は障がい者の活躍というところが本筋だと思うが、今回はそういった部分での連携ということではないのか。

溝口氏 無限はチロル堂の運営母体。
そういった部分での関わりだと思われる。

浦林氏 イベントの第2回、第3回の実施はいつごろの予定か。

事務局 実施計画書では9月、11月。

事務局 近鉄百貨店は地域での活動に力を入れていきたいと考えているようだ。
市としても連携していきたいと考えている。

浦林氏 近鉄百貨店生駒店は駅前にもあり、街の顔。
そこで取り込まれることは、市民にも届きやすいのではないか。

濱田氏 チロル堂はどのような形で参加しているのか。

事務局 イベント全体の中でのブース出展といったイメージ。

濱田氏 チラシと実施計画書で記載が異なるが、次の開催は7月か9月かどちらか。

事務局 時系列で見れば実施計画書の方が新しいので9月。

濱田氏 5月の参加者は何人程度だったのか。

事務局 初日が約400名、2日目が200名程度。

事務局 チロル堂の集客力が強いのもあり、全員が物品持ち寄りというわけではない。

清水氏 エクスチェンジとアップサイクルの商品は別物なのか。

浦林氏 書類を見る限り、エクスチェンジはその場で交換、アップサイクルは収集するだけのよう
に読み取れる。

濱田氏 エコバッグ作る会社はどこなのか。
地域内だとより SDGs になると思う。

溝口氏 高齢者などを募り、基本は地域の方が布を加工して作成する。
エコバッグを作ろうとしたきっかけは、チロル堂で買い物をしたときに従来ポリバッグを使用してゴミになっていた。
ごみを出さないためにもエコバッグを作ろうということになった。

浦林氏 材料はどのように集めるのか。主に広報の方法は。

溝口氏 企業から集めたりもすると伺っている。

事務局 市の SNS でも発信して呼び掛けている。

濱田氏 エクスチェンジは持込のみか。
思い出を大事にするということであればやはり対面が必要になり、持込のみになるのだろうか。

事務局 持込のみ。

事務局 採点表を用いて採点とコメントをいただきたい。

事務局 採点の結果 60 点を上回っている
この後、事務局でも審査を行う。

浦林氏 他に提案事業は無かったのか。

事務局 別に相談いただいているのが 1 件ある。

浦林氏 今回、募集枠に対して 1 件の申請ということで、見込みよりも少ない提案状況。
これは周知の問題なのか、制度が使いにくいのか。
制度としてあるのに、使ってもらえないのはもったいない。

濱田氏 広く知られているのであれば、時期に関係なく募集はあるかもしれない。

溝口氏 募集は 1 度だけなのか。

事務局 予算の空き次第で追加募集がある。

浦林氏 周りにも周知しているが、2 者連携という条件のハードル高いという声を聴く。

事務局 ネットワークの交流会や、HP を通じての周知はしたいと考えている。

濱田氏 松田委員の評価はどうするのか。

事務局 今回の評価は参加の 4 名のみ。
後日結果は共有させていただく。
(浦林委員所用により退席)

議題 2 令和 4 年度のいこま SDGs アクションネットワークの運営について

事務局からネットワークの現況、令和 3 年度の活動状況について説明。いこま SDGs アクションネットワーク会員紹介冊子について紹介。

溝口氏 この冊子は市役所で配っているのか。

事務局 公共施設やネットワークのイベントで配布している。
効果的な配布方法もご助言いただければ。

溝口氏 市民はSDGsと聞くと構えてしまう。
子どもも、SDGsはよく耳にするが、結局よくわからないという感覚。
肌で感じられるような取組が出来たらいい。
そういう取組が補助金で出来ればいいと思う。

事務局 SDGsを市民の生活に関連した例示も必要。
その取組はこの紹介冊子の主旨とは少しそぐわないが、市民に向けてのそういったアプローチは別途必要。

溝口氏 SDGsは本当はシンプルはずなのに、項目が多いことなどもあり、難しく捉えられがち。
もっとわかりやすくするためにも生駒市に落とし込んだSDGsが必要。

清水氏 環境フェスティバルは今年も実施するのか。

事務局 11/20に実施予定。
本ネットワークとも連携しながら実施したい。
これから企画にあたり、アドバイザー会議にも意見を伺ったりすることもあるかもしれないが、その際にご助力願いたい。

濱田氏 冊子の内容についてだが、印象として少し固さを感じる。
一般論でなく、生駒市で実施されている具体的なアクションにフォーカスした内容にした
ら伝わりやすい。
アドバイザー会議もフリー素材の固い写真。
これを見た会員が、アドバイザー会議にアドバイスをもらいたいと思ってもらえるような
見せ方が必要。

事務局 市民の取組も写真を大きくできたら親しみを持っていただけると思うので、工夫していき
たい。

濱田氏 市内には既にたくさんの活動がある。
それらの点をいかにつなぐかが重要。
山麓公園で竹の水鉄砲を作るイベントもある。竹はSDGs。
生駒は蛍を観察できる貴重な場所もある。自然環境もSDGs。
新しいものを生み出すだけでなく、そういった既にあるものをうまく発展させることも有
効。

溝口氏 市民に伝えるには分かりやすい見せ方が必要。

清水氏 SDGsをテーマとしたすごろくを作ってみたらどうか。
達成したらゴールみたいなルールだと実際のSDGsにもイメージをつなげたい。

事務局 団体・企業という点をつなげていくのも、行政に求められている役割だと認識。
イベントという機会が無くても、常時交流できるような仕組みもいいのではないかと思
う。

濱田氏 会員同士をマッチングして、ネットワークを発展させる活動と並行しながら、簡単なSDGs
を進めることも必要。
ネットワークに参加するということは一定のハードルがあるので、はじめの敷居が低くな

れば間口が広がる。

新型コロナが流行りだした時期に自治会役員していたが、当時、接触を避けながらできる取り組みとして、キエーロを提案した。

当時は様々な理由があり、実施できなかったが、こういうハードルが低い取り組みは必要。自分たちでできる SDGs（入りやすい部分）について考えるのもいいと思う。

事務局 スモールスタートの積み重ねが大きな結果にもつながると思う。
まずは導入部分が大事。

溝口氏 興味を持たないと、そこから進めない。
シンプルな入り口があるといい。

溝口氏 CODE for IKOMA との連携はどうか。

事務局 フェスティバルで市民向けの啓発という部分でそういったアイデアを活用することもできるかもしれない。
SDGs 推進事業補助金は2次募集も実施予定なので応募をお待ちしている。

事務局 令和4年度の取組（予定）について事務局から説明。

濱田氏 アクションネットワークは立ち上がったばかりで試行錯誤しているところ。
難しく考えずに、シンプルにひも解くことがキーワード。
市民でも前のめりになれるようなテイストを出せるように考えられたらいいと思う。

清水氏 市内には様々なことを実践している団体、イベントが既にある。
それらは市役所のどこかの部署とつながっている。
市役所内での連携によって活動の幅も広がるのではないか。

溝口氏 楽しさ、簡単さ、面白さというキーワードを入り口部分にちりばめることができれば、その後にもつながると思う。
ハードルを下げて、楽しそうに見せられたらいいと思う。

清水氏 楽しさやお得感があるとみんな興味を持ってくれる。

事務局 本日頂いた意見を参考にさせていただく。